

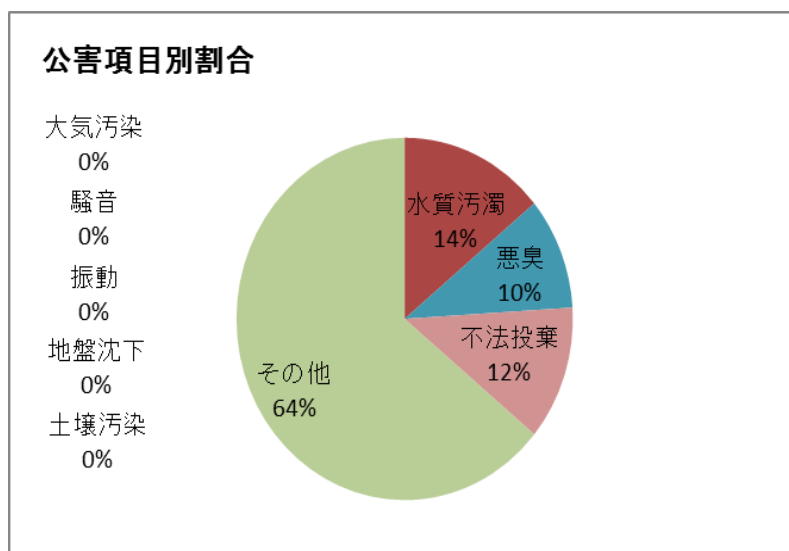
7 公害苦情発生状況

平成26年度に受け付けた公害苦情は50件であった。このうち、典型7公害(大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭、土壌汚染、地盤沈下)に係るものが12件、その他のものは38件であり、その内訳は次のとおりであった。

表7-1

分類	公害の種類	件数
典型7公害	大気汚染	0
	水質汚濁	7
	騒音	0
	振動	0
	悪臭	5
	土壌汚染	0
	地盤沈下	0
	小計	12
その他	不法投棄	6
	その他	32
	小計	38
合計		50

図7-1

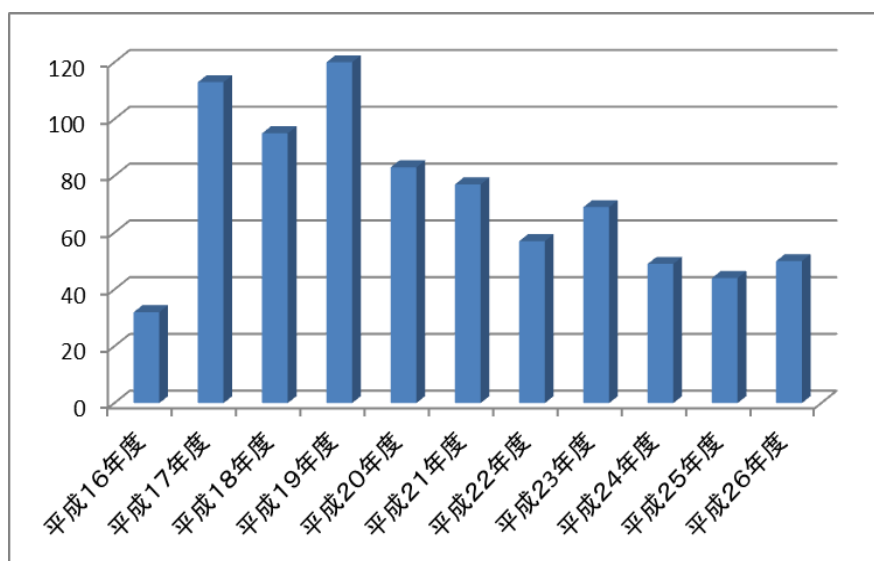


典型7公害のうち、苦情件数が最も多かったのは「水質汚濁」の7件で、製造業・食品加工業・運搬業・浄水場・個人宅が原因のものが1件ずつ、原因不明のものが2件であった。次に多いのが「悪臭」の5件で、農業・酪農関連のものが2件、食品加工業・個人宅・用水路が原因のものが1件ずつであった。その他、「大気汚染」「騒音」「振動」「土壌汚染」「地盤沈下」については苦情が無かった。

以上、典型7公害の12件は、割合としては、24%にあたり、典型7公害以外の苦情は全体の76%であった。中でも最も多かったのは、「その他」に関する32件で、割合は64%を占め、一般家庭による野焼きに関するものが最も多かった。「不法投棄」については、テレビやタイヤ等の市の施設での受け入れが出来ないものが多く投棄されていた。

表7-2 年度別苦情件数 図7-2

年 度	件数
平成16年度	32
平成17年度	113
平成18年度	95
平成19年度	120
平成20年度	83
平成21年度	77
平成22年度	57
平成23年度	69
平成24年度	49
平成25年度	44
平成26年度	50



過去10年間の年度別苦情件数は、表7-2及び図7-2に示すとおりである。

近年の動向としては、平成23年度以降減少していた苦情件数が、平成26年度には微増していることがみてとれる。

平成17年度から平成21年度と比べると、全体として苦情件数は減少しているが、一般家庭による野焼きに関する苦情の割合は依然として高く、市では、市広報紙及びホームページにより、市民への屋外焼却行為の禁止や廃棄物の適正処理について周知徹底に努めてきた。